

序 文

昭和33年に職業訓練法が施行されて以来15年が経過した。この間、公共養成訓練を経て社会に送り出された青少年の数は数十万に達しよう。これらの青少年の実態、意識を把握しておくことは、今後公共養成訓練を発展させる上で極めて重要なことと考へられる。本調査は、一応総高訓関係についてだけあるが、修了生の実態、意識を通じて、今後の公共訓練のありかたを考える上での一つの手掛かりを得ようとしたものである。

本調査から得られる情報は少くないが、特に中・高卒者の意識の差は今後の公共訓練高卒化に当って少なからぬ参考となろう。広く関係者の御批判を仰ぎたいと思う。

11月1日

調査研究部長

宗 像 元 介

発行日 昭和48年11月1日

発行者 職業訓練大学校

調査研究部長

宗 像 元 介

職 業 訓 練 大 学 校

神奈川県相模原市相原1960

TEL 0427 (71) 2111